



なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に
さざれ石の いわおとなりて
こけのおすまで

第16号
平成26年
11月15日発行
奈加美神社
泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

伊勢神宮式年遷宮古材下賜

昨年、伊勢の神宮において第六十二回式年遷宮が行われました。この式年遷宮は二十年に一度、大御神がお鎮まりになる御社殿を建替え、大御神に新殿にお遷り頂き、御神威の更新、甍りを願い、その恩恵により森羅万象あらゆるものの息吹の甍り、若返りを願う常若（とこわか）の精神のもとに行われます。



神宮司庁 山田工作所
豊受大神宮（外宮）の森の北西に隣接し、88,000平米の広大な敷地に貯木の堀や製材所、加工所、乾燥倉庫などの施設が建つ。



なぜ二十年に一度行われるのか。定説はないようですが、常若の精神はもとより、建築技術や工芸品の技術の継承など色々な説があります。

二十年毎に建替えるのは木がもつたいない。と言う方もおられますが、そんな事はございません。再利用を繰り返し、貴重な御用材は余す事無く有効に使われ、大切にされています。

先月、十月三日には内宮の宇治橋の鳥居が建替えられ、竣工式とくぐり始めが行われました。実はこの鳥居、宇治橋の奥、東詰のもの（境内側）は皇大神宮（内宮）御正宮の棟持柱。宇治橋の手前、西詰のもの（入口側）は豊受大神宮（外宮）御正宮の棟持柱を削り直して再利用されています。

二十年の間、両宮の棟持柱として御正宮を支え、そして次の二十年は宇治橋の鳥居として多くの参拝者を迎え、更に次の二十年、東詰の鳥居



今回頂戴した古材は境内末社・大宮稲荷神社の改築の御用材に使用させて頂く予定です。

は三重県亀山市の「閑宿の追分」の鳥居に。西詰の鳥居は同県桑名市の「七里の渡跡」の鳥居へと。また更にその後は近隣の氏神社の諸施設の御用材として、再利用され有効に使われます。これもまた日本の素晴らしい文化です。この事は一例であり、その他の古材の一部は全国の神社にも譲与されます。そこで今回、大変名誉なことに、奈加美神社がその式年遷宮の古材の譲与を受けることとなりました。木曾の山から伐り出され、二十年の間、天照大神の「神気」に触れた大変有難い材料です。去る九月二十七日、神社総代の代表と共に伊勢の神宮へ向い、まずは外宮で御垣内参拝。山田工作所へと移動し、ネットラックに古材を積み込んで頂き、式年遷宮造営部長の宮嶋禰宜様のお話を拝聴しました。そして内宮へと移動し、御垣内参拝、神楽殿にて神恩感謝の御神楽を奉拝させて頂きました。目的を終えて帰阪。夕刻七時頃となりましたが、奈加美神社に戻り、神社総代会・敬神婦人会・氏子青年会参列のもと、古材下賜奉告祭を執り行い、社務所にてささやかな祝宴を開きました。

本殿横の大宮稻荷神社は昭和四十六年に造営され、四十三年の年月を数えます。森の奥に祀られていたお稲荷さんをお遷し、本殿に祀られている佐野川・山出のお稲荷さんの御分霊を合祀したという記録があります。四十三年の間、修理という修理は行っており、鳥居や土塀も傷みが目立ち、散々な状態です。神様には大変申し訳なく思っておりますが、財政的な余裕も無く手が付けられないままです。しかしながら今回の古材譲与を絶好の契機として、大々的な改築を計画させて頂くこととなりました。とは言え平成二十一年に改称百周年記念事業で社務所を新築頂いたところですので、最低十年は空けないとご理解を頂きにくいかと思えます。五年先になりますが、平成三十一年の改称百周年を目途に計画を進めたく考えております。その際には是非ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

安産戌の日まいり

この度、奈加美神社オリジナルの安産岩田帯（腹帯）を奉製いたしました。デザインは日本画家であり高野山の画僧でもある藤原祐寛先生、奉製は谷捺染工業所さんをお願いし、素晴らしい仕上がりとなりました。



お母さん犬の優しい目、お父さん犬の守り、子犬たちの愛くるしさ、見るだけで癒されます。また岩田帯には珍しく、淡いピンクの特色（鴛色）を用いました。優しい母性でお腹の赤ちゃんを育んで欲しいと言う願いを込めています。

お母さんのお腹に新しい「命」が芽生えると言うことは、ご両親、ご家族は当然のことながら、地域の宝であり、喜びであります。神々の尊いお蔭や指導を頂いてのご先祖さまからの「命」の継承です。お腹の中で無事成長し、ご安産で産れ出てくることは誰しもの願いです。

安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのには犬が多産であり、安産であることに因みます。どうぞ目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお越し下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂けるコルセット型の腹帯もお授けしております。



馬描かんと大絵馬
馬描かんと大絵馬
馬描かんと大絵馬
馬描かんと大絵馬

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）ですが、配祭神には母君の神功皇后がお祀りされております。古事記によると約一八〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。

平成27年 安産戌の日表

1月	10日(土) 22日(木)
2月	3日(火) 15日(日) 27日(金)
3月	11日(水) 23日(月)
4月	4日(土) 16日(木) 28日(火)
5月	10日(日) 22日(金)
6月	3日(水) 15日(月) 27日(土)
7月	9日(木) 21日(火)
8月	2日(日) 14日(金) 26日(水)
9月	7日(月) 19日(土)
10月	1日(木) 13日(火) 25日(日)
11月	6日(金) 18日(水) 30日(月)
12月	12日(土) 24日(木)

今後の行事予定

十一月二十三日 新嘗祭（新穀感謝祭）
十二月下旬 新池中学校美術部大絵馬奉納
十二月三十一日 師走の大祓・歳末神恩感謝祭
一月一日・元旦 新春特別奉納行事
（川崎貴久氏による尺八・琴・和太鼓の奉納演奏）
一月九日・十一日 十日戎神事・吉兆授与
二月三日節分 厄除け・家内安全祈願奉仕
フェイスブックにて奈加美神社の日常を発信しています。トップページに「いいね」をお願いします。



Find us on Facebook